

意見書案第1号

令和2年9月18日

木古内町議会
議長 又 地 信 也 様

提出者 木古内町議会議員 廣瀬 雅一
賛成者 木古内町議会議員 竹田 努
賛成者 木古内町議会議員 平野 武志

松前半島道路の整備促進を求める意見書（案）

上記の意見書案を会議規則第14条第1項及び第2項の規定により、別紙のとおり提出する。

松前半島道路の整備促進を求める意見書（案）

松前半島道路は、北海道松前町から北海道新幹線木古内駅周辺や函館・江差自動車道茂辺地木古内道路に接続する路線で、平成10年に地域高規格道路の計画路線に指定された。

現道の国道228号線は、昭和63年に旧国鉄松前線が廃止となって以降、当該沿線地域の人・物の流通を担う唯一の道路として地域を支えている。

しかし、急峻な地形と津軽海峡に挟まれた海岸線に位置しているため、台風や低気圧による大しけ、落石などにより通行止めがたびたび発生し、北海道新幹線開業を機にした観光や産業振興、高齢化が進む地域住民の生活、医療施設への救急搬送や通院などに不安を抱えている。

また、平成29年2月に北海道が公表した「北海道日本海沿岸の津波浸水想定」は、稚内市から松前町までの日本海沿岸部での最大クラスの津波浸水を想定しているが、高波・波浪時には頻繁に越波し通行止めとなる福島～松前間の脆弱性を一層、際立たせる結果となった。

以上のことから、災害に強く、渡島西部のブランド力のある農水産物を安全、確実に出荷でき、救急搬送の速達性・定時性を確保し、救命率の向上を図る松前半島道路の早期整備は、沿線住民の長年の悲願である。

については、本路線の一日も早い整備と開通が確実なものとなるよう強く要望する。

記

区 分	要 望 事 項
地域高規格道路 松前半島道路	松前～木古内間（約60km）の松前町側からの事業化に向けた調査促進及び早期着手

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、提出する。

2020年9月18日

北海道上磯郡木古内町議会
議長 又 地 信 也

【提出先】 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣